



メディアセンターだより 12月号

令和4年12月
柏市立高柳中学校
柏市学校図書館指導員

12月になりました。澄み切った空気は気持ちよく、背筋を伸ばして歩きたくなりますね。2022年も最後の月です。この一年、いろいろなことがありました。その一つ一つが、かけがえのない経験です。来年も、たくさんの本との出会いがありますように。

メディアセンターからの お知らせ



★ 冬休み特別貸出 ★

貸出冊数：1人5冊まで

貸出期間：12/15（木）～12/22（木）

返却期間：1/10（火）～1/17（火）

※今借りている本は、返却日までに返しましょう。

延滞本があると、冬休みの本を借りられません。

★ 蔵書点検 ★

12/5（月）から12/9（金）まで、蔵書点検のため、メディアセンターは閉館します。

返却は返却BOXを利用してください。

★ 2学期ベストリーダー ★

たくさん本を
読みました！

第1位 2年C組 山越遼汰さん 79冊

第2位 1年B組 八矢ららさん 62冊

第3位 2年B組 小泉惺矢さん 50冊

(2022/9/1～11/30調べ)



『伊豆の踊子』

川端康成 著 新潮社 〈913〉

日本で初めてノーベル文学賞を受賞した作家、川端康成。今年には亡くなって50年の節目の年にあたります。「国境の長いトンネルを抜けると雪国であった」は代表作『雪国』の冒頭として有名です。本書『伊豆の踊子』も代表作として挙げられます。悩みを抱える主人公の青年が、旅先で出会った旅芸人の踊子との交流により、心が洗われていく物語です。



今月のおすすめ本

今年あった出来事より

川端康成没後50年

沖縄本土復帰50年

『綾瀬はるか「戦争」を聞く』1・2

TBSテレビ『NEWS23』取材班 編
岩波書店 〈210〉

今年には沖縄が本土復帰して50年の節目にあたります。本書は女優の綾瀬はるかさんが広島、長崎、沖縄、そして東日本大震災の被災地である東北を訪れ、インタビューしたものを書籍化したものです。戦争を経験した方々、被災された方々がぼつりぼつり語られる言葉は、それらが決して遠い昔のことではなく、現在も続いていることを教えてくれます。

『アンマーとぼくら』

有川ひろ 著 講談社 〈913〉

沖縄を舞台にした小説を紹介します。主人公のリョウが沖縄に里帰りし母親と過ごす3日間の物語です。小学校4年生の時に病気で亡くなった生みの母親のこと、子どものようなところばかりで嫌いだった、今は亡き父親のこと、新しい母親との関係、ずっと固まっていたリョウの心が解け出します。家族とは何でしょうか。自分にとっての大切なものを感じられる温かい作品です。

